
多面的機能支払 メールマガジン

「農村ふるさと保全通信」 第 60 号(2019. 3. 12)

農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力！

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第 60 号をお届けします。

今回の活動組織の活動紹介では、農村文化の伝承や景観形成の一環として水車造りに取り組む組織と活動を通して農福連携や幅広い世代と繋がりを深める取組を行っている組織を紹介します。

事務局からは、イベントの報告、ロゴマーク活用事例についてお知らせします。

---第 60 号の目次-----

1. 活動組織の活動紹介

☆ねのび地域資源保全会（三重県伊賀市）☆

☆明千寺地区活動組織（石川県鳳珠郡穴水町）☆

2. イベントの報告！

☆奈良県多面的機能支払交付金研修会が開催されました☆

3. ロゴマーク活用事例～シリーズ2：広報誌～

（編集後記）

■ 1. 活動組織の活動紹介 (1)

■ ~ねのび地域資源保全会(三重県伊賀市)~ ■

~地区概要~

三重県の北西部にある伊賀市東部の山の麓に位置する山間農業地域を拠点に活動。

活動範囲は、田 18.1ha、対象施設は、水路 9.7km、農道 3.6km。

~主な取組~

- ◎ 本組織では、農道や水路等の保全活動に加えて、自然豊かな昔ながらの農村風景を保全する景観形成活動に取り組んでいます。
- ◎ 特に力を入れている活動は、地域住民による水車造りの取組です。農村文化の伝承の一環として、木材選びから組立まで工程のすべてを地域住民の手で行っています。手作り水車は、農村風景のシンボルであるとともに、田んぼの用水供給施設として今もその役割を担っています。
- ◎ 水車ののどかで力強いそのたたずまいは、地域の美しい景観と重なって、訪れる人々や地域住民の心の癒しとなっています。
- ◎ また、地元小学生の授業の一環として水車の役割と成り立ちを学習しています。子どもたちが将来、農村文化や農業技術を継承することを期待しています。
- ◎ 今後も、地域の人々の手で命を吹き込まれた水車を農村風景の核として次世代へ継承し、地域住民の共同活動による活性化を目指していきます。

【ねのび地域資源保全会 代表 川瀬 洋】



地域のシンボルの水車



水車作製の様子



小学生の勉強会



地域の景観と水車

■ 1. 活動組織の活動紹介 (2)

～^{みょうせんじ}明千寺地区活動組織(石川県^{ほうす}鳳珠郡^{あなみず}穴水町)～■

～地区概要～

能登半島中央の穴水町の東部に位置する中山間農業地域を拠点に活動。

活動範囲は、田 33.5ha、畑 1.7ha、対象施設は、水路 15km、農道 14km、ため池 5箇所。

～主な取組～

- ◎ 本組織では、高齢化・過疎化が進む地域において、水路・農道などの保全活動を通じた農地の荒廃化防止や地域の活性化を目的に活動に取り組んでいます。
- ◎ 農地維持活動においては、非農家を含む地域内の有志が集まり、遊休化していた農地やため池堤体の除草作業を定期的に行っています。また、農道や水路の補修などの施設の長寿命化の活動にも取り組んでいます。
- ◎ 他方、地域活性化の取組としては、町内の福祉施設の利用者と田植えや稲刈りなどの農作業体験を通じた農福連携活動を行っています。また、地元の小学生との生き物調査及び、老人会とのゴミ拾い活動を行い、地域コミュニティや幅広い世代との繋がりを深める活動に力を入れています。
- ◎ 今後は、遊休農地を有効活用し更なる地域活性化に繋げるなど、新たな取組に積極的に挑戦していきたいと考えています。



農福連携による田植え



小学生の生き物調査



遊休農地の草刈り



直営施工による農道整備

【明千寺地区活動組織 副代表 星野 清一】

■2. イベントの報告！

～奈良県多面的機能支払交付金研修会が開催されました～ ■

2月6日（水）に奈良県^{かしはら}橿原市内（大和平野土地改良区）で奈良県農地・水・環境保全向上対策地域協議会主催の奈良県多面的機能支払交付金研修会が開催されました。活動組織の構成員をはじめ地方公共団体の関係者など約300人が参加しました。

本研修会は、県内の活動組織の構成員へ制度の改正等新しい情報を伝えることと、他地区の事例を紹介することで今後の活動の参考としてもらうことを目的としています。

最初に、来年度の多面的機能支払交付金の制度及び事務の簡素化などについて説明が行われ、その後、近畿地方の活動組織の現状と、元気に活動を続けている組織の例が紹介されました。

次に、県内の活動組織の事例発表として「田原ふる里環境保全向上活動協議会」から、農地の荒廃防止や施設の維持管理に集落の全戸が参加して取り組む活動の紹介があり、組織としてコミュニティの維持と共同作業（^{ゆい}結）の精神を基本とすることを大前提とした活動を行っていく考えが披露されました。特に、成功した事例だけではなく、失敗した事例の苦労話を交えた事例発表は受講者には身近に感じられたようで、今後活動を長く続けるための参考になったという意見が多く寄せられました。

また、農山漁村文化協会から提供されたDVD「獣害を止める基本」が上映され、農村集落における獣害（イノシシ等）の実態の紹介と、集落で取り組める活動について①餌付け②人慣れ③守れる集落、守れる農地づくり④動物の生態などのポイントから説明がありました。

今回の研修会が今後の組織の活動に役立つことを期待します。



事例紹介



獣害対策について

■3. ロゴマークの活用例～シリーズ2: 広報誌～■

多面的機能支払ロゴマークについて



農林水産省では、「多面的機能支払交付金」の活動や意義について関心を高め、活動の輪を広げることを目的として、ロゴマークを作成しました。

本記事では、全国各地でロゴマークがどのように使われているのかを知ってもらうことで、より多くの組織にロゴマークを活用してもらいたいと考えています。今回は、組織で作成している広報誌に用いた活用例を紹介します。

●なかつやま 中津山1地域保全会広域協定(宮城県石巻市)

組織の概要

宮城県の東部に位置する石巻市を拠点に活動する広域活動組織です。活動範囲は、田 573ha。対象施設は、農道 37.1km、水路 116.3km。

ロゴマークの活用方法

当組織が作成して定期的に発行している広報誌にロゴマークを載せており、多面的機能支払交付金を知ってもらうきっかけになっています。



中津山1地域保全会の広報誌「保全会たより」

●おしづち 押漕多面的機能活動組織(岡山県津山市)

組織の概要

岡山県の北部に位置する津山市を拠点に活動する活動組織。活動範囲は、田 1,185a、畑 242a。対象施設は、開水路 5.6km、パイプライン 0.4km。

ロゴマークの活用方法

ロゴマークを使用した広報誌「多面的機能支払通信」を年3回発行しています。

多面的機能支払 通信

No.18-3



2018年11月1日(木)発行
押漕多面的機能活動組織

多面的機能支払交付金事業進捗

● 押漕町内会の皆様、昨年の町内会総会時より着々と準備を進め4月1日より活動を推進しております。農林水産省管轄の「多面的機能支払交付金事業」の進捗状況を報告させていただきます！

【目的】

- 福南公民館だよりの2018年度3月号にも記載されていましたが、昨年11月現在、押漕町内会会員の人口も減少の一途をたどり112人まで減少、更に高齢化率も津山市全体の27.9%を大きく上回る「40.2%」と非常に高い状態となっているのが実情です。
- 農林水産省の補助金を活用し、私たちの住んでいる地域を何としても継続的に「安全で住みやすい環境」にし、次世代に繋げていくために。

『私たちの地域は私たちが守る！』を合言葉に、皆様と一緒に実践して行きましょう！

★町内総出で地区内の環境整備！

10月21日(日)実施

- 畦などに雑草が大繁殖し、全戸より若者男女総出で草刈りをかねたクリーン作戦展開！
- 年間で最大の体力労働作業であり、皆さんお苦戦も負けずに作業を継続！・・・ご苦労様でした。



町内各グループに分かれ、まずは作業の段取りを練りに練る！
● 「毎年参加者が減ってきているが、安全第一で頑張ろう！」と気を引き締めた。
● 「いつ終わるのか？」
● 90歳を超えた女性の方にも参加頂き、水田に投げ込まれたゴミや空き缶等々も回収！
● 「何回減れば終わるのか？」と終わりの見えない作業にうんざり！・・・でも地域のために頑張るぞ！

★南小学校五年生が稲刈り農業体験！

10月9日(火)実施

- 5月30日に自分たちで田植え実習をした稲の生育を確認後、稲刈り実習！
- 怪我をされたら大変なので、作業指導にも熱が入り関係者の方もピクピクされていたのが印象的でした。



南小学校から臨時バスに乗って元気いっぱいの子供たちが到着！安全を中心とした作業指導を行った後、実際の稲刈り作業を体験し、50年間の農業の大きさを体験！ 稲刈りのバス運転手さんに、気持ち良い挨拶をされていったのが印象的だった！

★皆さん「1・10・百・千・万」を合言葉に実践しておられませんか！

- 下記の行動を継続することにより、元気で明るい町内を継続しましょう！
- 私も毎日意識して行動しておりますが、⑤の達成がなかなかできません！・・・頑張るぞ！
- ① 1 = 朝一に水を一杯飲む
- ② 10 = 一日10人の人に会う
- ③ 百 = 一日100字を書く
- ④ 千 = 一日千歩を歩く
- ⑤ 万 = 一日一万歩を歩く

皆さんも他人事と思わず、今日から意識して行動してみよう！ 『私と一緒に行動してみませんか！』 井戸端会議等々で、皆さんの進捗状況を語り合い、お互いの課題を楽しく整理して継続して行きましょう。

★第4回「福南文化祭&あれあれまつり」へ参加！

10月28日(日)実施

- 福南地域活性化のため、押漕町内会として「催しもの」「舞台」等々で協力！
- 昨年と違い快晴に恵まれ、地区全体でも70%に迫る参加率で楽しくコミュニケーションが図れた！



『大満足・キッズダンス・フォークソングのパフォーマンス』に皆大満足！ 館内では地域の方の集まった才能が満載！・・・素晴らしい！ 『年に一度の地域の得意なやつ』とあらうでもこちらでも話の弾む！ 次交付金事業の一環で「学校との連携」を写真・押漕町内会は、若人会も消防団の協力で「うどん」を販売！・・・発売！ ビデオで紹介するコーナーも設置されていた！

★多面的機能支払交付金事業に対して、皆様へのお断り！

- 次年度に向け今年の課題点を整理し、より効果的である運用を目指しましょう！
- 活動は二つに分かれており、水路掃除・草刈りを中心とした「農地維持活動」と、地域資源の適切な保全管理のための「資源向上活動」に分かれています。
- (資源向上活動とは)
- 1. 景観形成のためのクリーン作戦・・・啓発・普及活動に向けた勉強会等
- 2. 農地周りの家の伐採等・・・災害前後の説明が必要なため現状把握が重要
- 3. 教育機関との連携活動・・・南小学校等、教育機関との農業実習 他

★押漕町内特有の災害時のリスク管理！

- 西日本豪雨を経験(平成10年以降)して初めて分かったことを紹介させていただきます！
- インターネット上で「岡山ポータル」を検索し、「津山にある水田村」の動きを見ていて分かったことは、吉井川の水位が5mを超えた時点でより田舎を占める水門が閉まることと確認された！
- 水位が7mを超えたと他の水門を閉めても内水が溜り、農道下の市道が水没し、町内全戸の移動が不可能となる！

※上記内容から推測して下記行動が必要と考えます！

- ① 町内各家庭から避難所への移動が水没で困難となるため、各自事前に避難場所を確認しておく！
- ② 移動困難と停電が予測されますので、事前に水の確保とご飯を炊いて食料を確保しておく！
- ③ 「北海道胆振東部地震」の停電で、全ての情報が得られなくなったことでのリスク対応策！
- 災害が予測されたら、まず携帯電話等々のバッテリーをフル充電しておく！
- 車を事前に高台に移動させスマホ等々の充電に活用する！
- ノートパソコンを持っておられる方はUSBからスマホ等々の充電ができるので活用する！
- 大き目のモバイルバッテリーを事前に購入しておく！

※町内でアイデアを出し合い住みやすい環境にしていきたいと思います！

押漕多面的機能活動組織の広報誌「多面的機能支払通信」

今後の展望

今後も、ロゴマークを記載した広報誌を発行していき、本交付金の活動を周知していきたいと思ひます。最近では、本交付金の活動を話題とした会話も増えてきているので、引き続き、地域の一体感を高めていければと思ひます。

【農林水産省 農地資源課 多面的機能支払推進室】

編集後記

今月の３日に開催された東京マラソン 2019 に参加してきました。当日は生憎の雨模様でしたが、３万８千人のランナーと一緒に東京都内を走ることができ、とても貴重な体験ができました。走っていて一番驚いたことは、外国人ランナーの多さです、沿道で応援されている外国人の方も多く、国際的にも人気のある大会なのだと感じました。

沿道から絶えず応援を掛け続けてもらったことで気持ちが折れることなく完走することができました。また来年も運よく抽選に当選したら走ってみたいと思います。

◇バックナンバー◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_sihara_i/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらからもご覧いただけます！



◇平成３０年度多面的機能支払交付金のあらまし◇

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai.html

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。どうぞ活用ください！！

http://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/H29/pdf/logo.docx



高めよう 地域協働の力！

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから！

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp

【発行】

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局整備部農地資源課

多面的機能支払推進室（担当：藤田、大木）

TEL：03-3502-8111（内線5493）
